

モデルカリキュラム 国語4年 「和と洋ブック」をつくろう

学習の流れ		学習活動	学校図書館活用・情報活用スキル	
			情報活用スキル	学校司書・司書教諭の役割
課題の設定	1. 学習課題をつかむ	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の成果物や、ゴールの様子等を見て、学習へのイメージ化を図り、意欲を喚起する。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の見通しを持つ。 意欲を喚起する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の成果物を提示したり、興味を持てそうな関連資料を紹介したりする。
	2. 教材文を読む	<ul style="list-style-type: none"> 教材文を読み、引用や要約を用いて文章をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの調べ学習や発表に生かすために教材文の内容を読みとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 並行読書ができるよう、関連図書を準備したり、ブックトークなども行いながら紹介したりする。
	3. 「和と洋」について書かれた図書を読み、それぞれの良さや違いを調べる ① 調べるテーマを決める 【課題の設定】	<ul style="list-style-type: none"> くらしの中の「和」や「洋」にはどのようなものがあるか話し合う。 「畳とフローリング」「カーテンと障子」「洋服と和服」「洋紙と和紙」の4種類についての図書を読みながら、調べたいものを選ぶ。 図書を読み、それぞれの良さや違いを調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 題材について話し合い、調べたいテーマを話し合い、決定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 担任と一緒に、児童の実態や資料の実態に応じた、個別の相談にのる。 単元のねらいに適した資料を厳選する。
情報の収集	② 複数の資料から情報を集める 【情報の収集】	<ul style="list-style-type: none"> 図書の題名や目次、索引などを活用して、効果的に資料を選ぶ。 調べたい内容について情報を見つけ、付箋をはる。 要約、引用して情報カードや付箋に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 「和と洋ブック」を作るという目的に応じた、適切な資料を集める。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元のねらい、課題、児童の実態に応じた資料を選び、パスファインダーを準備する。 資料(図鑑、百科事典なども)を用意する。 情報の見つけ方や資料の見方などの具体的な指導をする。 情報カードの書き方の確認をする。 担任と一緒に、児童の実態や資料の実態に応じた、個別の支援をする。
整理分析	③ 情報を整理したり、分析したりする 【情報の整理・分析】	<ul style="list-style-type: none"> 集めた情報カードを見て、「和と洋」それぞれの違いや良さがわかりやすいものを選ぶ。 集めた情報カードを、それぞれの良さや違いが分かるように対比させて並べてはる。 	<ul style="list-style-type: none"> 集めた情報の共通点や相違点を見つけながら、分類したり比較したりする。 調べた情報の中からまとめに使いたい内容を選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報カードの分類の仕方を指導する。 担任と一緒に、児童の実態や資料の実態に応じた、個別の支援をする。
まとめ発表	4. 友達とアドバイスをし合いながら、集めた情報をブックにまとめる 【まとめ・発表】	<ul style="list-style-type: none"> グループで友だちと紹介し合い、わかりやすかったか、直したほうが良いところはないか等話し合う。 話し合いをもとに、内容を修正したり追加したりする。 引用したり要約したりしながら、例文の形式に沿ってブックにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 集めた情報を相手に伝えるように組み立てる。 友達のまとめを聞いて、分かりやすいかアドバイスをし合う。 より分かりやすく伝えるよう、引用や要約しながらまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 担任と一緒に、児童の実態や資料の実態に応じた、個別の支援をする。 「和と洋ブック」を保管する。